

EA159DX-1(エアーチゼルキット)取扱説明書

Ver1.1

この度は当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。製品を安全に
ご使用頂きますためにも、取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い申し上げます。

■ 仕様

- 本体全長…172mm
- 使用圧力…0.62MPa
- 打撃数…3,000bpm
- チゼル軸径…10.2mm
- 使用コンプレッサー…2.2.kw
- 付属品…チゼル(170mm)×5本、
リテナー
- 重量…1.6Kg
- エア消費量…283L/min
- エアー吸入口…1/4"Rc (プラグ付き)
- 使用エアホース内径…10mm
- ケースサイズ…315(W)×90(D)×240(H)mm
- 三軸合成値…15.14m/s ISO-28927-9
- 騒音値…104db(A) ISO 15744

● 各部名称



● チゼルの装着方法

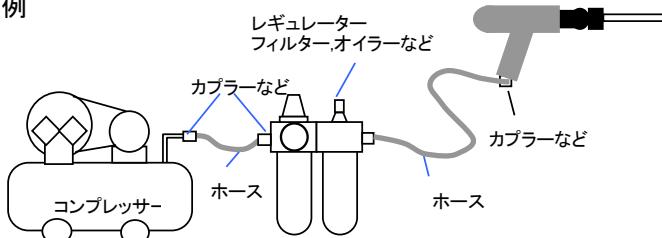
最初にツールをエアーホースからはずしてください。(時計方向)
希望のチゼルを本体に差込みます。
次にリテナーをかぶせて時計回りの方向に
ねじ込んで行ってください。
しっかりとリテナーはねじ込んでください。
チゼルをはずすときはリテナーを反時計回りの
方向に回してください。



● 使用方法

チゼルの先端を加工物にあててからスイッチを入れてください。
エアーツールのON/OFFはグリップ部のスイッチによって行います。
スイッチを押している間は、ツールが作動します。停止はスイッチを離してから
数秒かかります。安全のためにツールが完全に停止した後で収納場所に置いてください。
レギュレーターで流量を調整することができます。

● 取り付け例



◆ 騒音について

・ご使用中、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県等で定める騒音規制値以下で使用して下さい。
必要に応じて、防音壁等で遮音処置を取って下さい。

◆ 操作方法

- ・圧 力…0.62MPa前後で使用して下さい。高すぎると能力はアップしますが、寿命を縮めます。
低すぎると能力が低下します。
- ・エア…コンプレッサー、配管内のごみや水分を除去する為、フィルター又はドレン等を取り付けて下さい。
ごみが内部に入ると故障の原因となり、水分が入ると錆の原因となります。
- ・給 油…ご使用前に吸入口より5~6滴スピンドル油(ISO VG 10)を必ず給油して下さい。
・給油を怠ると摩擦が増大し、故障の原因となります。
・使用後も保管の際は給油して下さい。(防錆の為)

● メンテナンス

- ・工具を接続する前に(ISO VG 10くらいの)スピンドルオイルを接続口から5~6滴たらしてください。
- ・粘度の高いオイルをさしますと、機能が十分発揮されなくなりますので、もし、誤って粘度の高いオイルをさした時は、洗い流して適正オイルをさしてください。
- ・3~4時間の作業ごとにオイルをさすと、工具が長持ちします。

● 保管

- ・使用後は水分や汚れを拭き取り乾燥させて、オイルをさしてください。
- ・使用しないときはコンプレッサーホースから工具を外してください。
- ・保管に際しては湿気のある所は避けてください。湿気があると工具内部にサビが発生します。



安全上の注意

事故、けがを未然に防ぐため、ご使用前に必ずお読み頂き、ご理解の上、注意事項を厳守してください。

- ・作業をする前に必ずチゼルとリテナーが確実に装着している事を確認してください。
- ・適正な圧力と適正な使用スピードが最良の作業効率をもたらします。
コンプレッサーの適性ゲージ圧力は0.62MPaです。
- ・エアーツールとコンプレッサーの間のホースは内径10mmをご使用ください。
エアーツールとコンプレッサーの間にはフィルターとオイラーを設置してください。
- ・使用前にホースをコンプレッサーの圧縮空気で掃除しますと、湿気とホコリが除去できます。
ホースを延長して使用するほど(7.5m以上)、ラインの圧力も相応してあげなければなりません。
- ・作業時は必ず保護めがね、イヤーマフ、防塵マスク、手袋を着用してください。
- ・作業現場は必ず換気をよくしてください。
- ・動力源が故障した場合はエアーツールをはずしてください。
- ・絶縁されてない為、電源に接触しないように注意して作業してください。
- ・爆発性雰囲気のある環境下では、エアーツールは使用しないでください。
- ・また圧力のかかったホースには注意してください。
- ・作業対象物は必ず適正な工具に固定してください。
- ・過度のエアー圧力をツールにかけたり、速いスピードでの空回しは工具の損傷の原因になります。
- ・作業場の照明は充分明るくしてください。
- ・作業場には子供や他の人を近づけないでください。
- ・無理な使い方はしないでください。作業にあつたエアーツールを使用してください。
工具の能力と作業にあつた速度、トルクを選んでください。
- ・作業時は作業に適した服装をしてください。
だぶついた作業服、ネクタイ、ネックレスなどの装身具類は、可動部に巻き込まれます。
長い髪も危険ですので帽子をかぶるようにしてください。
手袋を使用するときは、巻き込まれないような品で、すべらない手袋を着用してください。
- ・加工物をしっかりと固定し、両手で工具を使用してください。手で加工物を保持すると危険です。
- ・作業工具は注意深く手入れをしてください。
エアーホース、接続部、スイッチなどは損傷していないか、その他定期的に点検してください。
握り部、スイッチは常に乾かし、きれいな状態を保ってください。
- ・次の場合はスイッチを切りエアーホースを外してください。
 - ① 工具の取り付け、交換
 - ② 作業終了時
 - ③ 異常を感じたとき
- ・エアーツールを運ぶときは、エアーホースを外してください。不用意にスイッチが入ることがあり、危険です。
- ・エアーツールを使用するときは、取り扱い方法、作業方法、周りの状態を把握して、慎重に作業してください。
- ・作業前には、可動部の位置、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に、異常、損傷がないかを確認してください。
- ・改造はしないでください。本機の寿命を著しく損ねる場合があります。また、ご使用者がケガをする場合、作業行程に支障を来たす場合があります。
- ・振動工具の三軸合成値について
仕様欄に数値を記載しています。

日振動ばく露量A(8)は、厚生労働省の下記サイトで求めることができます。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisaku/seisaku-000012.html>

株式会社 エスコ

本社／〒550-0012 大阪市西区立売堀3丁目8番14号
TEL(06)6532-6226 FAX(06)6541-0929

2024.Nov.